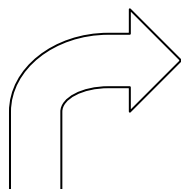
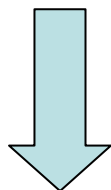


### 取り上げた背景

1. 費用対効果の説明責任
2. 活動や貢献度合いが見えにくい  
⇒ “経営に資する”の原点
3. 意味のある定量指標で目標展開したい

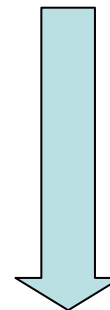


## 「知的財産(活動)による事業貢献の“見える化”に向けて」



知的財産(活動)による事業貢献

前半へ



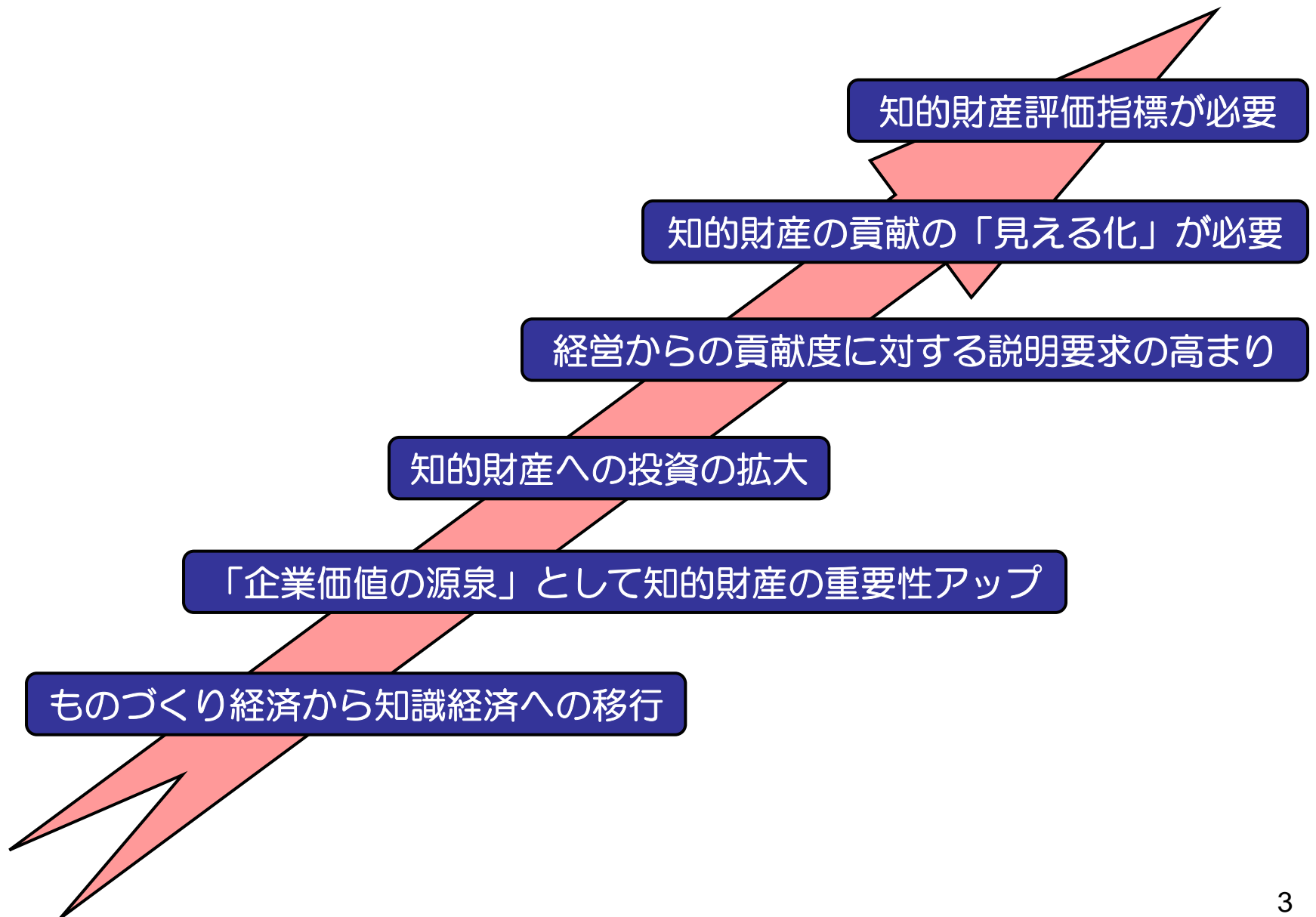
“見える化”に向けて

後半へ

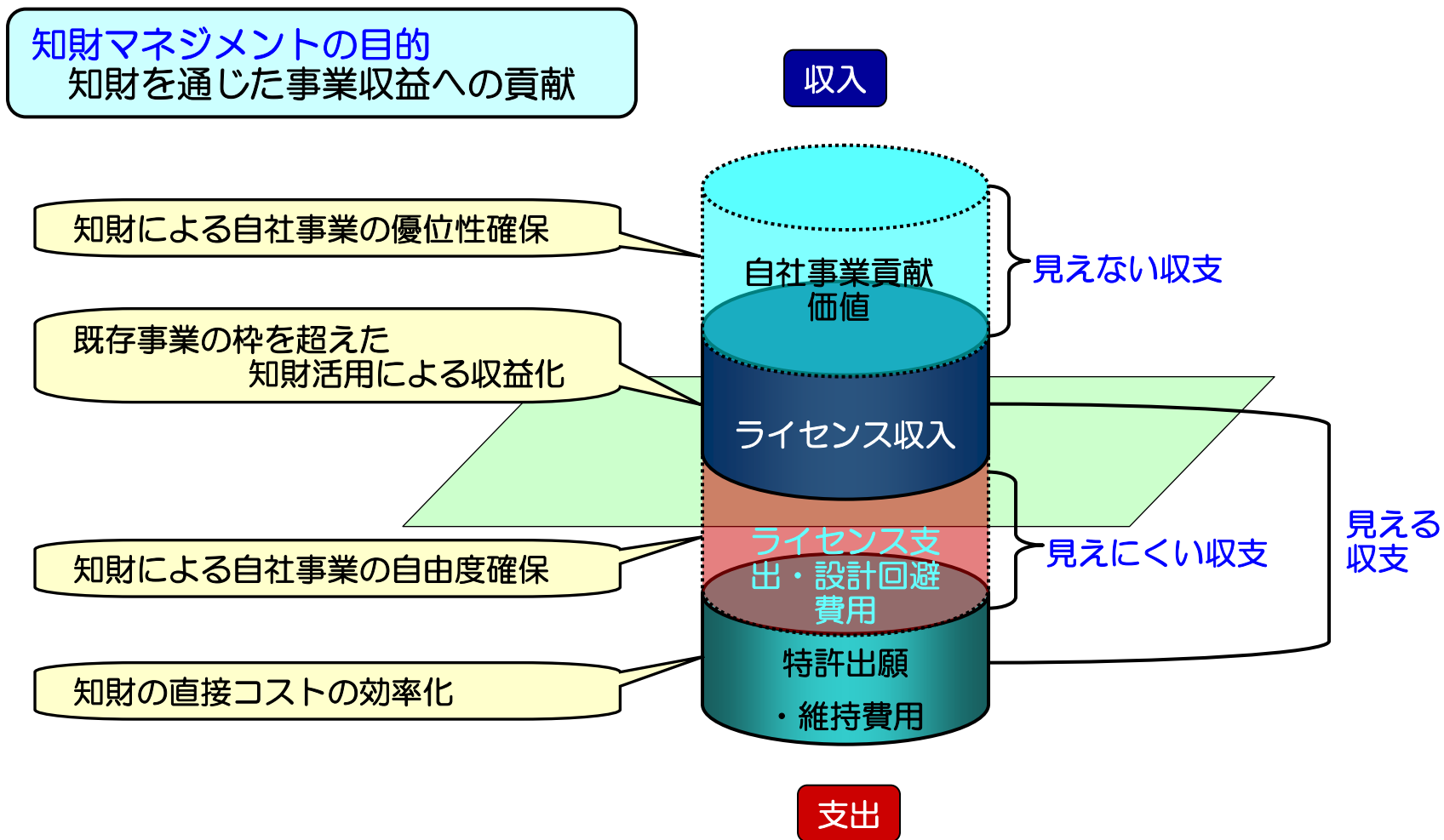
# “見える化”への論点整理

1. 誰に対しての何のための“見える化”？
2. ホントに見えづらいのか？
3. 長い知財創造サイクルへの対応は？  
(いつの活動？ いつの成果？)
4. “見える化”の対象は？  
(活動プロセス？ 成果？)
5. 意味のある定量化にチャレンジするとしたら、何がポイントとなるのか。

# 知的財産の貢献の「見える化」に対する要求

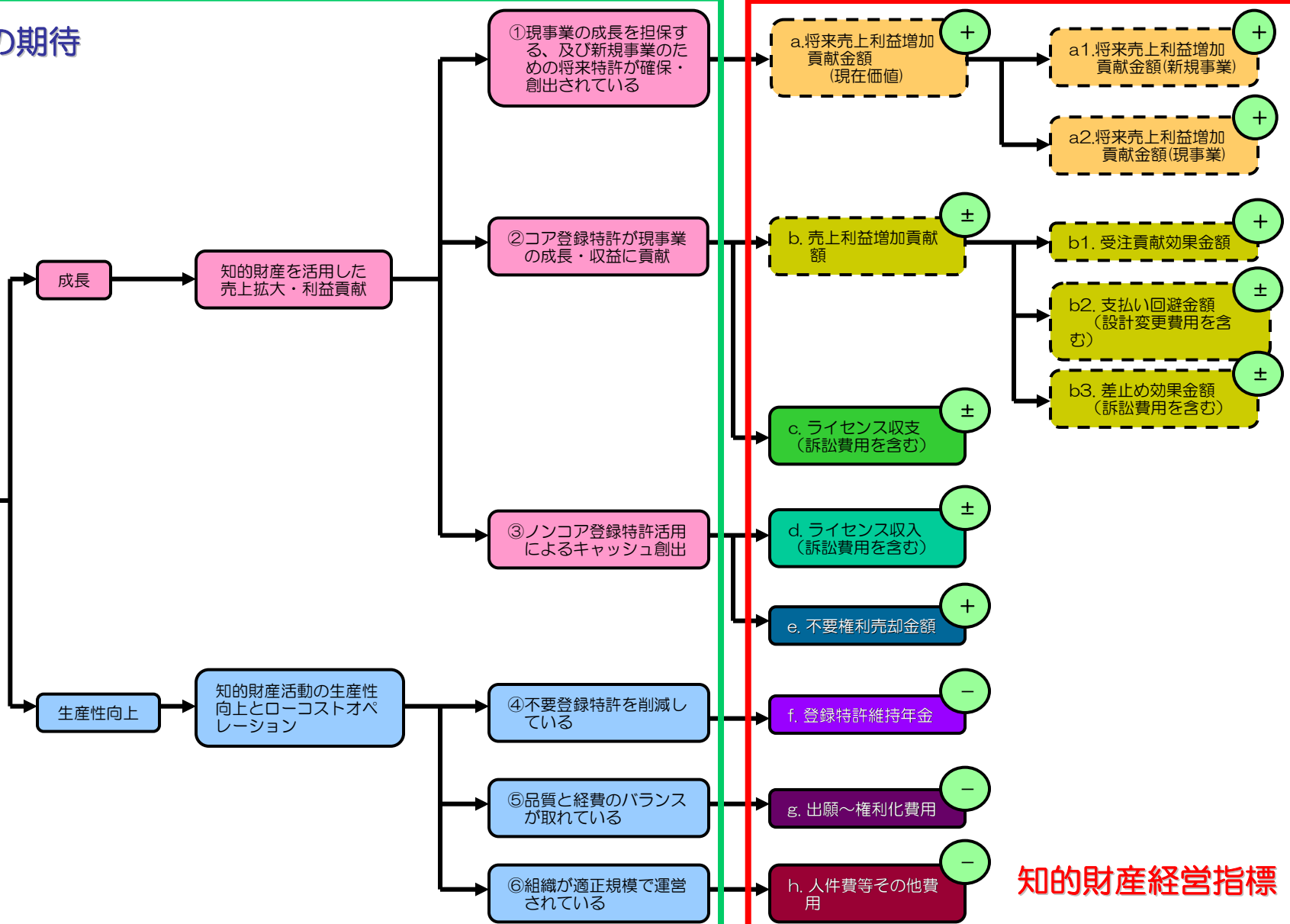


# 知的財産マネジメントの目的と収支の関係



# 経営の期待

事業貢献  
(事業単位)



## 知的財産経営指標

# 知的財産経営指標の算出方法

## (1) 知的財産経営指標と知的財産活動指標の関係（例）

知的財産経営指標		知的財産活動指標（金額）	知的財産活動指標（プロセス指標，基礎データ）
a 将来売上・利益増加貢献金額	貢献金額 （将来事業）	権利化特許の売上（利益）に対する予想貢献額	登録件数，登録率，自社実施率など
		新規出願特許の売上（利益）に対する予想貢献額	将来重要テーマ出願件数（将来重要テーマ出願率）など
		他社権利の買取による売上（利益）予想貢献額	買取件数，自社実施率など
		調査活動に基づく研究支援貢献額	調査解析テーマ数，研究見直しテーマ数など
	貢献金額 （現事業）	権利化特許の売上（利益）に対する予想貢献額	登録件数，登録率，自社実施率など
		新規出願特許の売上（利益）に対する予想貢献額	将来重要テーマ出願件数（将来重要テーマ出願率）など
		他社権利の買取による売上（利益）予想貢献額	買取件数，自社実施率など
		調査活動に基づく研究支援貢献額	調査解析テーマ数，研究見直しテーマ数など

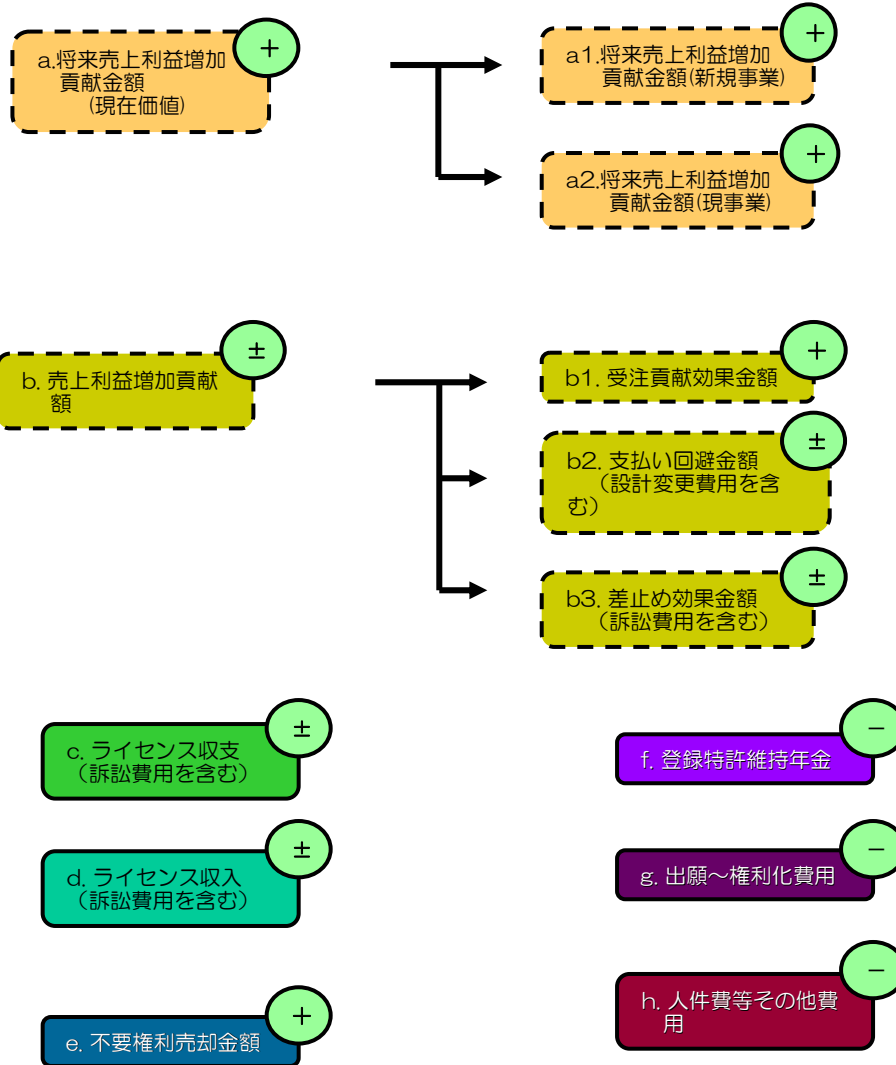
知的財産経営指標		知的財産活動指標（金額）	知的財産活動指標（プロセス指標，基礎データ）
b 売上・利益増加貢献金額	受注貢献効果金額	権利化特許の売上（利益）に対する予想貢献額	登録件数，登録率，自社実施率など
		新規出願特許の売上（利益）に対する予想貢献額	重要テーマ出願件数（重要テーマ出願率）など
		自社権利による他社参入の抑制防止効果額	対象分野別権利化件数（自社，他社）など
		他社警告による侵害排除，けん制・抑止効果額	侵害警告件数など
	支払い回避金額	他社支払回避金額	無効申立成功件数，他社へ権利行使可能な特許数など
		交渉による支払の減額	交渉による支払の減額など
		侵害回避による紛争未然防止相当額	自主的侵害回避件数など
		侵害回避に伴う支出	侵害回避に伴う支出など
	差止め効果金額	他社差止めによる効果額	差止め件数，差止め会社数など
		訴訟に係る支出	訴訟費用
	c. ライセンス収支（コア特許）	訴訟に係る支出	訴訟費用
		ライセンス収入	ライセンス収入
ライセンス支払		ライセンス支払	
他社権利の買取費用		他社権利の買取費用	
損害賠償金		損害賠償金	

知的財産経営指標	知的財産活動指標（金額）	知的財産活動指標（プロセス指標，基礎データ）
d. ライセンス収入 （ノンコア特許）	訴訟に係る支出	訴訟費用
	ライセンス収入	ライセンス収入
	損害賠償金	損害賠償金
e. 不要権利売却金額	自社不要権利売却による収入金額	自社不要権利売却による収入金額，売却特許件数など

知的財産経営指標	知的財産活動指標（金額）	知的財産活動指標（プロセス指標，基礎データ）
f. 登録特許維持年金	登録特許維持年金費用	登録特許維持年金費用，保有特許件数 など
g. 出願～権利化費用	出願権利化に係る費用	出願権利化に係る費用，出願件数，権利化件数 など
h. 人件費その他費用	知財活動人件費	知的財産活動人件費，知財部員人数 など
	その他費用	その他の訴訟費用，調査・システム投資計画 など



# 知的財産経営指標



## 知的財産P/Lの提言

経営者に理解されやすいP/L (Profit and Loss Statement) 的なまとめ方の計算書を作成する。

知的財産経営指標	知的財産活動指標 (プロセス指標を除く)
a. 将来売上・利益増加貢献金額	・ 免除ロイヤリティ法により〇〇〇億円
b. 売上・利益増加貢献金額	
c. ライセンス収支 (コア特許)	・ ライセンス収入金額＝〇〇億円 ・ ライセンス支払金額＝－〇〇億円
d. ライセンス収入 (ノンコア特許)	・ ライセンス収入金額＝〇〇億円
e. 不要権利売却金額	・ 自社不要権利売却による利益＝〇〇〇万円
f. 登録特許維持年金	・ 国内外登録特許維持年金費用＝－〇億円
g. 出願～権利化費用	・ 国内外出願の出願費用＋権利化費用＝－〇〇億円
h. 人件費その他費用	・ 活動人件費＝－〇億円 ・ その他の調査・システム投資費用等＝－〇億円
評価額 合計	a + b + c + d + e + f + g + h = 〇〇〇億円

## どのような活用の仕方があるのか

1) 実績の評価を重視

⇒ IRとして将来使用

2) 将来利益の評価に重点

⇒ 今後の事業展開についての  
判断材料を経営陣に提示

3) 詳細データ

⇒ 部門間評価

4) 公開データを元に

⇒ 他社比較